

三好市スポーツ施設整備基本構想（案）



平成25年 3月

目 次

第1章 基本構想策定にあたって	P. 1
1. 目的	P. 1
2. 基本構想の位置づけ	P. 1
3. 計画期間	P. 1
第2章 三好市の体育施設の現状と課題	P. 2
1. 施設の現状	P. 2
2. 施設の整備状況	P. 3
3. 施設の利用状況からみた各地区の主なスポーツ競技	P. 6
4. 施設整備における課題	P. 12
第3章 スポーツ施設整備の基本方針	P. 14
1. スポーツ振興における基本施策を踏まえた整備	P. 14
2. 施設整備における課題を踏まえた整備	P. 16
第4章 基本構想の推進	P. 18
1. 屋外施設	P. 18
2. 屋内施設	P. 18
3. 施設の維持管理	P. 19
添付資料1 体育施設利用状況の整理結果	
添付資料2 社会体育施設整備状況写真	

第1章 基本構想策定にあたって

1. 目的

近年、核家族化や少子・高齢化社会、情報化社会等の到来によって、社会環境が変化中、市民の健康づくりや生きがいくりに対する意識は高まりを見せており、運動やスポーツの果たす役割や意義が重要となっています。

こうしたことから、三好市では「これからの三好市が目指すべきスポーツ振興の方向性を明らかにし、その実現にむけた施策を総合的かつ計画的に推進していく指針」として、平成23年2月に「三好市スポーツ振興基本計画」を策定し、「みんなが主役、生涯スポーツのまち、三好市」の実現に向け、各種事業を展開しているところがあります。

そこで、市民のスポーツ活動を支える「場」である体育・スポーツ施設の整備に努める必要があり、既存施設の現状・課題などを把握し、施設の新設、統廃合も含め、施設整備を計画的に推進するため、本基本構想を策定するものであります。

2. 基本構想の位置づけ

「三好市スポーツ振興基本計画」のなかで、スポーツ振興の第1の基本目標を

「誰でも」「いつでも」「どこでも」「いつまでも」

スポーツを楽しめる施設・設備の充実を図る

三好市には、市内各地に社会体育施設や学校体育施設が多数配置されている。それらの施設・設備の計画的な整備と管理を行うとともに、新設設備の計画的な構想によって、将来に向けた施設・設備の充実を図ります。

としております。

本基本構想は、この目標を実現するために、施設の整備状況や利用状況、今後のスポーツニーズ等を把握し、想定される各課題を考慮しながら、施設及び設備の整備における基本的な方針を示すものであります。

3. 計画期間

本基本構想の計画は、平成25年度を初年度とし、必要に応じて計画の見直しを行います。

また、本基本構想は、財政運営の健全性を確保しながらスポーツ施設の計画的整備を図るための指針として作成するものであり、将来の予算編成等を拘束するものではありません。

第2章 三好市の体育施設の現状と課題

1. 施設の現状

平成18年3月に町村合併により誕生した三好市では、旧町村に、現在30余りの社会体育施設と多数の学校体育施設が配置されています。社会体育施設のうち、池田総合体育館、三野体育館、吉野川運動公園、山城総合グラウンド野球場、三野グラウンド及び井川サッカー場は、年間を通して多く利用されており、三好市の核となる運動施設としての役割を果たしています。また、テニスコートやゲートボール場、アーチェリー場等も整備されており、専用施設としての役割を果たしています。

一方、本市は広い面積と独特の地形や地理的条件を有しているため、公共交通機関も少なく、施設を利用するにはどうしても自家用車等に頼らざるを得ない状況となっています。

そのなかで学校体育施設等は、地域密着型として地域住民がいちばん身近に利用できるスポーツ施設であり、生涯スポーツの場として、また心身の健康づくりや地域住民の親睦を深める交流の拠点としての役割を担っています。

現在、市内の小、中学校の運動場や体育館は、原則として休日や夜間を中心に開放しており、利用者も増加の傾向にあります。

同時に近年、市民の健康志向の高まりやニーズの多様化によって、高齢者や障がい者など多くの市民が日常的にスポーツを親しむようになり、施設・設備のバリアフリー化等も求められています。

また、一部の体育館では施設の老朽化が進み、耐震化が図られていないものもあり、三好市では、平成26(2014)年度までにすべての学校施設の耐震化を完了する予定としています。しかし、休・廃校となる学校の施設は、その計画に含まれておらず、今後の整備方針について、廃止を含めた検討が必要となっています。学校施設は、市内の小・中学校52校の内28校が休廃校となっている状況であります。

2. 施設の整備状況

市内に整備されている社会体育施設と学校体育施設の一覧表を、以下の表-1、表-2に示す。

表-1 三好市社会体育施設一覧表

地区	名称		種別	主競技	概要		
三野	三野体育館		屋内				
	三野サッカー場		屋外	サッカー	1面(中学生まで)	天然芝	
	三野テニスコート		屋外	テニス	2面	人工芝	
	屋内ゲートボール場すばく三野		屋外	ゲートボール	2面		
	三野グラウンド		屋外	軟式野球	小学生野球2面(一部重複)		
井川	井川グラウンド	サッカー場	屋外	サッカー			
		グラウンド・ゴルフ場	屋外	グラウンドゴルフ			
		アーチェリー場	屋外	アーチェリー	5レーン		
	井川体育館		屋内				
	井川柔剣道場		屋内	柔剣道			
	井川多目的交流施設		屋外		ゲートボール1面		
	井川屋内ゲートボール場		屋外	ゲートボール	1面		
池田	池田総合体育館		屋内				
	吉野川運動公園	池田球場	屋外	硬式野球	夜間照明有り	天然芝	
		多目的グラウンド		屋外	SB・サッカー	ソフトボール及び小学生野球2面、 一般サッカー1面	
			ランニングコース	屋外	ランニング	800m弱	
	箬蔵近隣公園	自由広場	屋外	ソフト・小学生野球			
		テニスコート	屋外	テニス	1面、壁内1面		
		ゲートボール場	屋外	ゲートボール			
	新山多目的広場		屋外	ソフト・サッカー	ソフトボール及び学童野球1面、 中学生サッカー1面		
	池田一中	体育館	屋内				
		武道館	屋内				
運動場		屋外	少年野球・ソフト	ソフトボール及び小学生野球1面、 サッカー1面			
洞草運動場		屋外		25m×75m			
山城	山城総合グラウンド	野球場	屋外	軟式野球		天然芝	
		多目的広場	屋外	グラウンドゴルフ			
	大野体育館		屋内				
西祖谷	西祖谷運動公園	野球場	屋外	小学生野球	サッカー等も可能 H25から西祖谷中学校運動場		
		多目的広場	屋外	ゲートボール			
		管理棟	屋内				
		公園	屋外				

※その他運動施設

地区	名称		種別	主競技	概要	
井川	井川スキー場腕山		屋外	スキー		
池田	沼谷公園		屋外	ゲート・Gゴルフ		
	板野市民プール		屋外	変形プール	幼児用、滑り台、20m×10mプール	
	中西市民プール		屋外	50m×7コース	幼児用併設	
	西山浜市民プール		屋外	変形プール	幼児用別に設置	
山城	ラフティング		屋外	ラフティング	市営施設無し	
東祖谷	癒しの温泉郷グラウンド		屋外	雪合戦		
	奥祖谷遊歩道		屋外	ハイキング		

表-2 三好市学校体育施設一覧表

平成25年3月現在

地区	学校名	運動場			体育館	備考
		面積(m ²)	形状	照明	面積(m ²)	
三野	王地小学校	2896	正方形	有	386	
	芝生小学校	4124	正方形	無	496	
	太刀野分校	964	長方形	有	111	H20休校
	東谷小学校	555	長方形	無	103	H11休校*
	太刀野山小学校	1631	長方形	有	335	H16休校*
	三野中学校	8107	正方形	有	878	
井川	西井川小学校	2068	正方形	有	400	
	辻小学校	4309	正方形	有	1004	
	井内小学校	4441	正方形	有	684	
	井川中学校	8804	長方形	有	945	
池田	池田小学校	6578	正方形	有	965	
	箸蔵小学校	2158	長方形	有	651	
	西山小学校	1807	長方形	無	601	H24休校*
	三縄小学校	6055	長方形	有	712	
	漆川小学校	2601	長方形	有	227	H10休校*
	川崎小学校	3528	正方形	有	364	
	出合小学校	2147	長方形	有	334	H17休校*
	白地小学校	3970	正方形	無	688	
	馬路小学校	2020	長方形	有	598	
	佐野小学校	2188	長方形	有	472	H24休校
	馬場小学校	978	正方形	無	558	H12休校*
	野呂内小学校	763	長方形	無	310	H16休校*
	池田中学校	8098	正方形	有	1458	
	池田中学校(弓道場)				324	
池田中学校(武道館)				423		
山城	大和小学校	1399	正方形	有	419	H23休校
	山城小学校	1211	長方形	無	549	
	政友小学校	1538	長方形	有	542	
	大野小学校	2281	正方形	有	480	
	河内小学校	2316	長方形	有	556	H23休校*
	西宇小学校	1981	正方形	有	514	H23休校*
	上名小学校	1087	長方形	有	552	H24休校
	下名小学校	4072	正方形	有	621	
	平野小学校	1569	正方形	無	488	H18休校*
	山城中学校	4319	長方形	有	750	
	山城中学校(柔剣道場)				356	
西祖谷	有瀬小学校	1347	長方形	無	559	H8休校*
	吾橋小学校	1289	長方形	無	610	
	西岡小学校				554	H22休校 H25から中学校に移行
	櫛生小学校	3530	長方形	無	680	
	善徳小学校	1094	長方形	無	453	H22休校*
	西祖谷中学校	6600	長方形	有	912	H25から社会体育施設
東祖谷	和田小学校	1748	長方形	無	450	H23廃校*
	栃之瀬小学校	2136	長方形	無	628	H23廃校*
	落合小学校	3604	長方形	無	526	H23廃校*
	菅生小学校	3679	長方形	無	520	H23廃校*
	名頃小学校	3810	長方形	無	451	H23廃校*
	東祖谷統合小・中学校	7100	正方形	有	846	H24.4開校

*: 現在、休校または廃校で、平成25年度から地域多目的施設になる学校

【屋外】施設

市内には陸上競技場をはじめ、社会人または一般の利用者を対象としたサッカー場が無い状況であることや、今後の需要が予想される生涯スポーツに対応した競技場が不足していることが把握できます。

陸上競技種目は、現在、多目的グラウンドや学校運動場を、代替競技場として利用しており、公認取得の是非は別の問題として、専用舗装の走路やフィールド競技等が可能な施設を備えた専門の陸上競技場が無い状況です。

サッカー場は現在、三野と井川地区に専用競技場として二箇所整備されていますが、それ以外は多目的グラウンドを利用しています。三野地区のサッカー場は、天然芝が施されていますが、中学生までを対象としたサイズで、他のグラウンドは、真砂土舗装となっています。社会人または一般利用者を対象とした規模で、天然芝等の舗装を施した専用競技場が無い状況です。

また、生涯スポーツの競技として、ゲートボール、グラウンドゴルフ、パークゴルフ等が挙げられますが、市内にはパークゴルフ場が整備されていません。この他、ランニングコース、ジョギング・ウォーキングコース等の整備も不足している状況です。

アウトドアスポーツとして、登山・ハイキング・ラフティング等については、特に整備している施設として挙げるものはないが、自然豊かな山間地域・エリアそのものが、施設となっている状況であり、観光資源としての役割も大きくなっています。

学校体育施設においては、市内の小・中学校52校の内28校が休廃校となっており、現在も学校施設として利用されているものについては、教育上の観点から、必要とされる規模の施設整備が計画的に進められています。

これに対し休廃校となった施設については、継続的な利用が望まれるところであり、管理の面からも、今後の対策が必要となっています。現在、教育委員会だけでなく、地域振興課においても同様の課題となっています。

地域振興課においては、地域振興の立場から、学校施設も含めた利用による地域コミュニティの場の創出や、地域活性化に向けた取り組みを、積極的に進めています。

【屋内】施設

屋内の社会体育施設は、現在西祖谷及び東祖谷地区を除き、各地区に体育館やゲートボール場等が整備されている状況であります。各地区に体育館が整備されることが望まれますが、休廃校となった学校施設を、特に地域密着型のスポーツ施設として、従来以上に利用できるようにすることが求められています。

3. 施設の利用状況からみた各地区の主なスポーツ競技

本基本構想策定に先立ち、過去3年4ヶ月（平成21年4月から平成24年7月まで）における三好市の施設の利用状況データをもとに、地区（市内町村）別に取りまとめ、その傾向を把握することとしました。

利用状況データは、三好市の施設予約システムに記録しているデータ及び管理担当部所に残っている資料を使用しました。

三好市全体における体育施設は、概ね吉野川及び祖谷川流域に沿って配置されており、利用状況においても両河川の周辺地域ごとに、主なスポーツ競技に傾向、特徴をうかがうことができます。【屋外】【屋内】別に一覧表を示す。

表-3 各地区の【屋外】の主なスポーツ競技

地区	施設名		施設の概要	利用頻度			主な競技
				1	2	3	
三野	三野サッカー場		1面	サッカー			サッカー 野球 グランドゴルフ テニス ゲートボール アーチェリー
	三野テニスコート		2面	テニス			
	屋内ゲートボール場すばく三野		ゲートボール2面	ゲートボール	野球	サッカー	
	三野グラウンド		軟式野球(少年2面)	野球	ソフトボール	サッカー	
井川	井川グラウンド	サッカー場	少年サッカー2面	サッカー	グランドゴルフ	ソフトボール	野球 サッカー グランドゴルフ テニス ゲートボール アーチェリー
		グラウンド・ゴルフ場	1面	グランドゴルフ			
		アーチェリー場	アーチェリー	アーチェリー			
	井川多目的交流施設		ゲートボール1面	その他(運動)			
	井川屋内ゲートボール場		ゲートボール	ゲートボール	グランドゴルフ	サッカー	
池田	吉野川運動公園	池田球場	硬式野球1面	硬式野球	軟式野球	ソフトボール	野球 サッカー グランドゴルフ テニス ゲートボール
		多目的グラウンド	ソフトボール・サッカー	ソフトボール・少年野球	サッカー	グランドゴルフ	
		ランニングコース	約800m	散歩	ランニング		
		ゲートボール場		ゲートボール			
	箬蔵近隣公園	自由広場	ソフトボール・小学生野球	少年野球	グランドゴルフ	ソフトボール	
		テニスコート	テニス1面	テニス	サッカー		
		ゲートボール場	ゲートボール1面	ゲートボール			
	新山多目的広場			サッカー	少年野球	ソフトボール	
	池田一中運動場		少年野球・ソフトボール	少年野球	グランドゴルフ	ソフトボール	
洞草運動場		25m×75m					
山城	山城総合グラウンド	野球場	軟式野球1面	軟式野球	少年野球	グランドゴルフ ゲートボール	
		多目的広場	グランドゴルフ	グランドゴルフ			
西祖谷	西祖谷運動公園	野球場	軟式野球1面	軟式野球	ソフトボール	グランドゴルフ ゲートボール	
		多目的広場		ゲートボール			

※その他屋外スポーツ競技

地区	施設名		施設の概要	利用頻度			主な競技
				1	2	3	
井川	井川スキー場腕山		スキー場	スキー	雪合戦		スキー グランドゴルフ ゲートボール アウトドアスポーツ
池田	沼谷公園		ゲートボール・グランドゴルフ	グランドゴルフ			
山城	ラフティング	市営施設無し	ラフティング	ラフティング			
東祖谷	癒しの温泉郷グラウンド			雪合戦			
	奥祖谷遊歩道		ハイキング、登山道	ハイキング			

表-4 各地区の【屋内】の主なスポーツ競技

地区	名称		施設の概要	利用頻度			主な競技
				1	2	3	
三野	三野体育館	アリーナ		バスケットボール	バレーボール	フットサル	バスケットボール バレーボール 武道
		会議室	102m×57m	バスケットボール	サッカー	ソフトバレーボール	
	各小学校	体育館		バスケットボール	バレーボール	フットサル	
	三野中学校	体育館	878㎡	武道(剣道,少林寺拳法)	バレーボール	バスケットボール	
井川	井川体育館			サッカー	バレーボール	フットサル	バレーボール バドミントン フットサル 武道
	井川柔剣道場		柔剣道	武道(剣道,柔道等)	-	-	
	各小学校	体育館		バレーボール	ソフトバレーボール	バドミントン	
	井川中学校	体育館	945㎡	バレーボール	バドミントン	ソフトバレーボール	
池田	池田総合体育館	メインアリーナ		バドミントン	卓球	バレーボール	バレーボール バスケットボール バドミントン 卓球 武道 その他 (ウォーキング,レクリエーション)
		サブアリーナ		その他(体操,クレーション等)	武道(空手,剣道等)	ソフトバレーボール	
		会議室		その他(駅伝,クレーション等)	武道(空手,剣道等)	サッカー	
	池田一中	体育館		バレーボール	ソフトバレーボール	バスケットボール	
		武道館		-	-	-	
	各小学校	体育館		バレーボール	ソフトバレーボール	武道(剣道)	
	池田中学校	体育館	1458㎡	バレーボール	バスケットボール	武道(空手,太極拳等)	
山城		弓道場,武道館		武道(空手,拳法等)	武道(弓道)	-	
	大野体育館	アリーナ		野球	バレーボール	ソフトバレーボール	
	各小学校	体育館		バレーボール	バスケットボール	ソフトバレーボール	
	山城中学校	体育館	750㎡	バドミントン	バレーボール	ソフトバレーボール	
西祖谷		柔剣道場		武道(空手,剣道)	-	-	
	西祖谷運動公園	管理棟		ゲートボール	-	-	
	各小学校	体育館		雪合戦	バドミントン	卓球	
	西祖谷中学校	体育館	912㎡	バスケットボール	バレーボール	卓球	
東祖谷	各小学校	体育館		武道(剣道)	卓球	バレーボール	武道 卓球
	東祖谷統合小・中学校	体育館		-	-	-	バレーボール

このほか、整理結果をもとに各地区の主なスポーツ競技に着目して作成した、一覧表及び図を次頁に示す。

表-5 各地区の社会体育施設の主なスポーツ競技
表-6 各地区の学校体育施設の主なスポーツ競技
図-1 社会体育施設の位置及び主なスポーツ競技
図-2 学校体育施設の位置及び主なスポーツ競技

* なお詳細な整理結果は、添付資料1 体育施設利用状況の整理結果に添付する。

表-5 各地区の社会体育施設の主なスポーツ競技

地区	名称	種別	【屋外】主な競技			【屋内】主な競技					
			1	2	3	1	2	3			
			総利用人数			総利用人数					
三野	アリーナ 三野体育館	屋内	-	-	-	バスケットボール	64,756	バレーボール	12,170	フットサル	2,820
		屋内	-	-	-	バスケットボール	1,025	サッカー	250	ソフトバレーボール	30
	三野サッカー場	屋外	26,991	サッカー	26,961	-	-	-	-	-	-
	三野テニスコート	屋外	13,444	テニス	13,444	-	-	-	-	-	-
	屋内ゲートボール場すばく三野	屋外	9,636	ゲートボール	2,450	野球	815	サッカー	630	-	-
井川	三野グラウンド	屋外	45,800	野球	36,045	ソフトボール	7,475	サッカー	1,140	-	-
		屋外	45,450	サッカー	34,700	グラウンドゴルフ	8,420	ソフトボール	1,800	-	-
	井川グラウンド	屋外	19,480	グラウンドゴルフ	19,410	-	-	-	-	-	-
	アリーナ	屋外	14,050	アーチェリー	14,000	-	-	-	-	-	-
	井川体育館	屋内	-	-	-	サッカー	7,025	バレーボール	5,297	フットサル	3,545
池田	井川総合体育館	屋内	-	-	-	武道(剣道、柔道等)	20,920	-	-	-	-
		屋外	-	-	-	その他(運動)	30	-	-	-	-
	井川多目的交流施設	屋外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	井川屋内ゲートボール場	屋外	13,986	ゲートボール	9,236	グラウンドゴルフ	4,400	サッカー	300	-	-
	メインアリーナ	屋内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山城	池田総合体育館	屋内	-	-	-	バドミントン	21,058	卓球	19,567	バレーボール	17,265
		屋内	82,578	その他(体操、レクリエーション等)	6,095	武道(空手、剣道等)	5,781	ソフトバレーボール	3,538	-	-
	池田球場	屋外	57,780	野球	48,597	ソフトボール	2,910	その他(駅伝等)	105	-	-
	多目的グラウンド	屋外	55,768	野球	26,934	グラウンドゴルフ	9,590	ソフトボール	4,115	-	-
	吉野川運動公園	屋外	56,522	野球	25,348	サッカー	14,283	ソフトボール	3,435	-	-
西祖谷	自由広場	屋外	35,672	野球	8,583	グラウンドゴルフ	7,022	ソフトボール	3,557	-	-
		屋外	2,553	(イベント)	2,300	テニス	103	サッカー	50	-	-
	新山多目的広場	屋外	6,066	ゲートボール	800	野球	75	-	-	-	-
	池田一中	屋外	16,519	野球	9,916	グラウンドゴルフ	3,435	ソフトボール	1,468	-	-
	洞ヶ原運動場	屋外	44,579	野球	27,315	ソフトボール	16,560	グラウンドゴルフ	450	-	-
西祖谷	山城総合グラウンド	屋外	28,453	グラウンドゴルフ	25,558	野球	2,610	-	-	-	-
		屋外	400	野球	400	-	-	-	-	-	-
	大野体育館	屋内	5,356	グラウンドゴルフ	3,080	ゲートボール	840	野球	589	-	-
	多目的広場	屋外	21,383	ゲートボール	21,316	-	-	-	-	-	-
	管理棟	屋外	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表-6 各地区の学校体育施設の主なスポーツ競技

地区	学校名	【屋外】主な競技			【屋内】主な競技						
		1	2	3	1	2	3				
三野	王地小学校	サッカー	6,540	-	-	バスケットボール	6,619	フットサル	4,200	ハレーボール	1,410
	芝生小学校	-	-	-	-	バスケットボール	14,075	ハレーボール	10,590	ドッジボール	65
	木刀野分校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
井川	東谷小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木刀野山小学校	ゲートボール	2,090	-	-	(コミュニティ活動)	166	-	-	-	-
	三野中学校	サッカー	2,955	マラソン	100	武道(少林寺拳法)	9,301	ハレーボール	1,364	バスケットボール	1,126
川	西井川小学校	サッカー	9,710	その他(オーケストラ)	280	-	-	ソフトハレーボール	4,471	ハレーボール	1,889
	辻小学校	サッカー	525	ハレーボール	136	ドッジボール	120	バスケットボール	18,962	バドミントン	1,009
	井内小学校	(コミュニティ活動)	150	-	-	-	-	-	-	-	-
池田	井内中学校	サッカー	602	ソフトボール	200	野球	9	ハレーボール	3,478	バドミントン	1,539
	池田小学校	野球	21,658	サッカー	16,800	ソフトボール	10,475	ハレーボール	6,774	テニス	3,605
	善蔵小学校	ソフトボール	460	ハレーボール	209	ソフトハレーボール	111	ハレーボール	5,896	バドミントン	4,136
山	西山小学校	(コミュニティ活動)	220	-	-	-	-	ソフトハレーボール	449	ハレーボール	270
	三郷小学校	野球	9,430	-	-	-	-	ソフトハレーボール	13,764	バドミントン	3,888
	漆山小学校	(コミュニティ活動)	100	-	-	-	-	(コミュニティ活動)	240	-	-
山城	川崎小学校	武道(剣道)	80	-	-	-	-	武道(剣道)	6,640	ソフトハレーボール	4,808
	白合小学校	(コミュニティ活動)	100	-	-	-	-	(コミュニティ活動)	850	-	-
	出合小学校	野球	1,515	-	-	-	-	ソフトハレーボール	8,105	ハレーボール	1,296
池田	池田小学校	サッカー	8,650	その他(カエ-ソウ)	20	-	-	サッカー	6,290	武道(剣道)	4,795
	佐野小学校	サッカー	1,000	-	-	-	-	ソフトハレーボール	1,420	バドミントン	154
	馬場小学校	(コミュニティ活動)	100	-	-	-	-	(コミュニティ活動)	100	-	-
山城	野呂内小学校	(コミュニティ活動)	100	-	-	-	-	(コミュニティ活動)	100	-	-
	池田中学校	57,939	3,870	野球	3,209	サッカー	165	ハレーボール	5,939	バスケットボール	2,326
	池田中学校(旧道場)	-	-	-	-	-	-	武道(弓道)	17	(部活動での利用が930人有り)	-
山城	大和小学校	-	-	-	-	-	-	武道(空手・柔道等)	9,177	-	-
	山城小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	政友小学校	-	-	-	-	-	-	ハレーボール	6,907	バスケットボール	6,605
山城	大野小学校	-	-	-	-	-	-	ハレーボール	3,021	ソフトハレーボール	1,223
	河内小学校	-	-	-	-	-	-	ソフトハレーボール	100	球技大会	100
	西宇小学校	-	-	-	-	-	-	バドミントン	15	-	-
山城	上名小学校	-	-	-	-	-	-	ソフトハレーボール	110	-	-
	下名小学校	-	-	-	-	-	-	ソフトハレーボール	1,350	バドミントン	460
	平野小学校	841	フットサル	505	グラウンドゴルフ	100	野球	74	ソフトハレーボール	2,169	バドミントン
山城	山城中学校	2,030	(コミュニティ活動)	2,030	-	-	-	(コミュニティ活動)	40	-	-
	山城中学校(柔剣道場)	-	-	-	-	-	-	武道(空手・剣道)	4,089	-	-
	有瀬小学校	-	-	-	-	-	-	(コミュニティ活動)	40	-	-
西祖谷	吾徳小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西祖小学校	-	-	-	-	-	-	ゲートボール	130	ソフトハレーボール	45
	様生小学校	1,007	野球	1,007	-	-	-	雪合戦	160	バドミントン	140
東祖谷	善徳小学校	-	-	-	-	-	-	ソフトハレーボール	12	-	-
	西祖谷中学校	231	サッカー	180	野球	51	-	バスケットボール	658	ハレーボール	312
	和田小学校	-	-	-	-	-	-	卓球	45	-	-
東祖谷	標之瀬小学校	150	(コミュニティ活動)	150	-	-	-	武道(剣道)	2,732	ハレーボール	480
	善合小学校	-	-	-	-	-	-	卓球	1,815	ハレーボール	646
	名園小学校	-	-	-	-	-	-	雪合戦	100	-	-
東祖谷	真接谷総合小・中学校	2,230	その他(ウオーキング)	130	ソフトボール	90	-	ソフトハレーボール	20	-	

※スポーツ以外の利用のみの場合は、(コミュニティ活動)とする。

徳島県 三好市全図

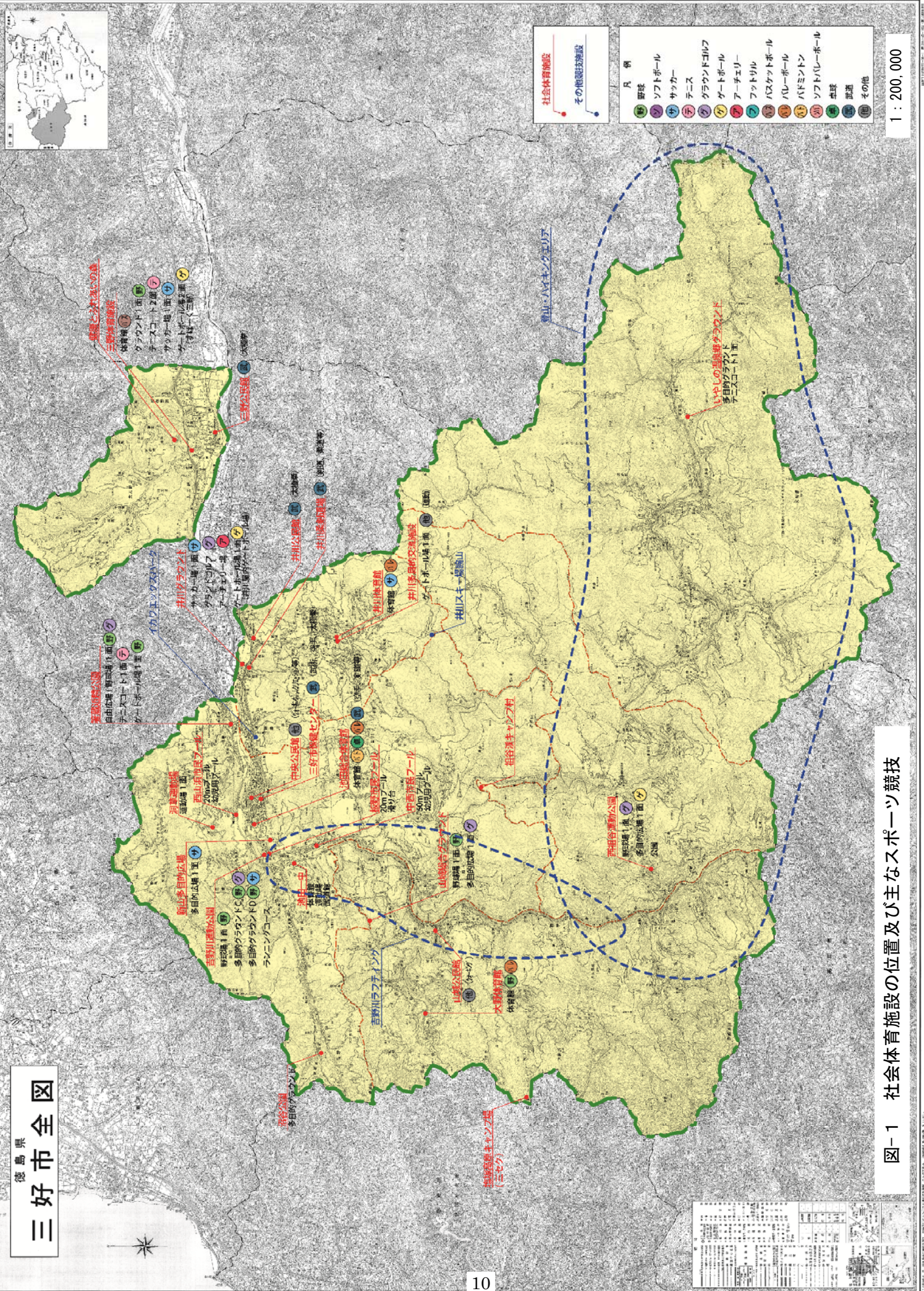
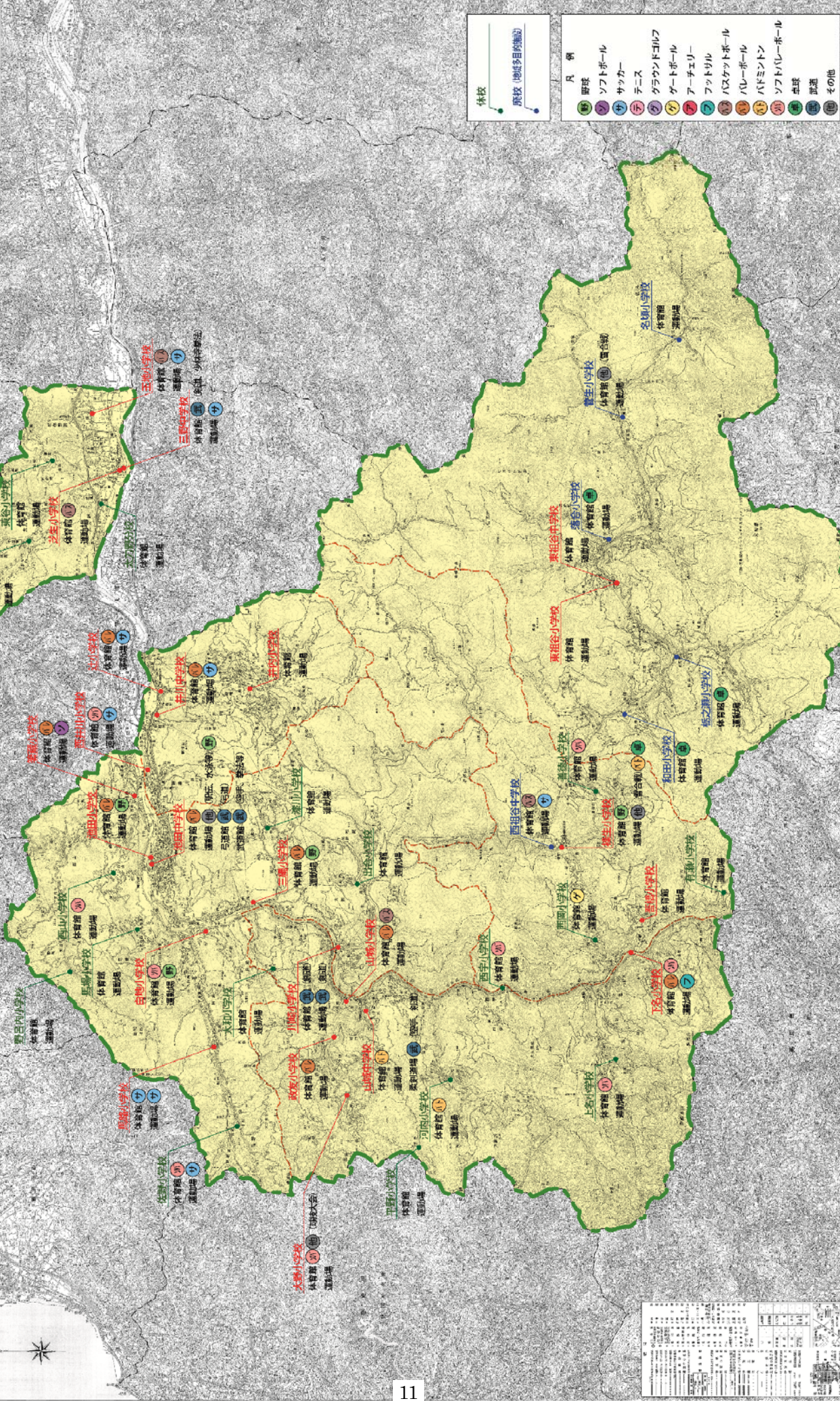


図-1 社会体育施設の位置及び主なスポーツ競技

徳島県
三好市全図



- 凡 例
- 野球
 - ソフトボール
 - サッカー
 - テニス
 - クラウンドゴルフ
 - ゲートボール
 - アーチェリー
 - フットリル
 - バスケットボール
 - ハレーボール
 - バドミントン
 - ソフトバレーボール
 - 卓球
 - 武道
 - その他
- 体校
県校 (地域多目的施設)

1 : 200,000

図-2 学校体育施設の位置及び主なスポーツ競技

4. 施設整備における課題

市民のスポーツニーズの多様化に対し、どのように施設を整備してゆくのか、各地区に同じものを同じ数だけ整備することは、困難であることは言うまでもなく、効率的な施設の整備が望まれるところでもあります。ここでは、整備における課題を整理します。

(1) 既存施設の利用状況を考慮した施設整備

利用状況からスポーツニーズを的確に把握し、今後の継続的かつ一層の活用に繋がる施設整備を推進することが課題となります。

(2) 地域密着型の生涯スポーツ分野等の需要に対応

現在の利用状況だけに偏らず、今後の新たな需要が見込まれる競技に対応した施設整備にも留意することが望めます。特に高齢者を対象とした地域密着型の生涯スポーツ等の需要に対応することも必要となります。

(3) 専門競技場の整備

屋外の専門性をもった競技場（野球場、サッカー場）では、公式競技大会を開催した場合、施設の規模や数が不足している等の関係で、1日に行える試合数が少ないことで、大会規模が限られている状況です。こういった専用競技場は、社会人やプロの利用、合宿等への誘致も考慮した施設規模（舗装、面数、サイズ、利便設備等）を備えていることが望めます。

ここでは、施設規模の算定における財政面との調整や、便利な利用・アクセスを考慮するとともに、近隣の市町（「にし阿波観光圏」）に既存する同様のスポーツ施設の整備状況も鑑みた検討が重要となります。

(4) 休廃校となった学校体育施設の利用

市内の小・中学校で休校となっているものは体育施設として、必要に応じて継続的な利用にむけた整備が求められています。

また、廃校の小・中学校については、施設の規模に違いがあることなどから、小学校は地域多目的施設として、地域が主体となって管理するとともに有効利用を行い、中学校は旧町村ごとの社会体育施設の核として、地域の意見をより反映した利用に向けて、施設の整備及び管理を進めていくこととなります。

(5) 施設の耐震化及びバリアフリー化

市内の社会及び学校体育施設は、全体的に老朽化が進んでいるものが多く、バリアフリー対策や耐震対策が十分でない施設がまだ多数あります。

計画的に対策を進めることが重要となります。

(6) 施設の利便性の向上

現在、河川敷にある施設のトイレ等は、汲み取り式であることや、飲料水の供給ができていないこと、また更衣室やシャワー室などが完備されている施設が少ないなど、施設の利便性の向上にむけた対策が望まれます。

(7) 現在整備されていない競技場の整備

現在競技人口は見込まれるものの、専用競技場が整備されていない競技場として陸上競技場や、パークゴルフ場等が挙げられます。陸上競技場では、競技場の公認取得の是非は別の課題として、特殊舗装を施した走路や多様なフィールド競技が可能となる施設を備えた専門の競技場が望まれます。また同様に、パークゴルフ場においても、専門の競技場としての施設を備えた整備が望まれます。

(3)と同様に、ここでも施設規模の算定における財政面との調整や、便利な利用・アクセスを考慮した施設設置箇所の選定が重要となります。

このほかランニングコースやジョギング・ウォーキングコース等の現在不足している施設は、各地区においての整備が望まれます。

(8) 整備した施設の維持管理

現在整備済みの施設も含め、新規に整備される体育施設の維持管理体制を構築し、継続してゆくことが重要となります。

第3章 スポーツ施設整備の基本方針

1. スポーツ振興における基本施策を踏まえた整備

「三好市スポーツ振興基本計画」のなかで、スポーツ振興の第1の基本目標に対する基本的な施策が以下のように示されております。この基本的施策を踏まえ、施設整備を進めることとします。

【基本的施策】

(戦略1) 「いつでも」スポーツを楽しめる施設・設備の充実

市内では、早朝、夜間にウォーキングやジョギングを楽しむ市民の姿がよく見かけられます。また、休日等を利用してハイキングや山登りを楽しむグループも、増加の傾向にあります。自然豊かな三好市は、こうした野外スポーツを行うには理想的な環境にあるといえます。

こういった生涯スポーツ社会の実現においては、自分のライフスタイルに合わせて、楽しみたいときに「いつでも」スポーツができる環境づくりが重要です。

市民が自由時間を活用し、個人の体力、能力に合わせてながら安心、安全にスポーツを楽しむために、各地にウォーキングやジョギング、またハイキングや山登り、オリエンテーリングのコース等の充実を目指します。

(戦略2) 「どこでも」スポーツを楽しめる施設・設備の充実

四国一の面積を有する三好市は、社会体育施設が分散しており、公共交通機関網等の問題もあって、「いつでも」「どこでも」利用できるという状態ではありません。まず、社会体育施設や中学校の体育施設は、市のスポーツ振興の核として位置づけ、今後においても継続的に整備するとともに、設備や備品の充実を目指します。

一方、休廃校も含め、学校は各地域にあることから、社会体育施設と併用しながら、学校体育施設を有効活用することによって、市民がどこの地域に住んでいてもスポーツを楽しむことが可能となります。特に小学校は、現在も各地域の交流の拠点であり、交通の利便性の問題も概ね解決できる距離範囲にあります。

しかし、各地域の体育館や運動場には、面積等においてかなりの格差があり、全ての小学校の体育館であらゆるスポーツが実施できるという環境ではありません。また、地域によっては過疎化や高齢化が進み、参加する人数や年齢層等の問題から、楽しむことのできるスポーツ種目が制限されるというのが現状です。

各地域でスポーツ種目を設定し、「1地域1スポーツ推進運動」を展開しながら

ら、生涯スポーツ社会の実現を図ります。最近すでに普及しているゲートボールやグラウンドゴルフ等のほかに、体力や年齢に応じて楽しむことのできる多様なニュースポーツの導入を目指します。地域によっては冬季期間、屋外でスポーツをする機会が減少することを考慮し、年間を通して楽しめる室内スポーツの普及も検討します。

(戦略3)「誰でも」スポーツを楽しめる施設・設備の充実

生涯スポーツ社会の実現にむけては、身体に障がいがある人を含め、子供から高齢者まで、「誰でも」がスポーツに参加できる環境づくりが必要です。

市内には「幼児のための遊び場やスポーツ施設が少ない」という市民の要望があります。このことは、既存の体育施設が児童生徒や成人を対象として設置され、学校教育や社会教育の振興を目的としたものである以上やむを得ない面もあります。幼稚園や保育所の積極的な開放、体育施設及び運動公園の一隅に簡易な遊具を設置したり、ヤードを芝生化するなど、創意工夫することによって魅力ある遊び場づくりを目指します。

また、高齢者や身体に障がいがある人に対するバリアフリー化も重要な課題となっています。バリアフリー新法が平成18年に施行となって、新しく建設された学校や公共施設には、エレベーターやスロープが設置されていますが、それ以前に建設された市内の体育施設の多くは、高齢者等にとって、利用しやすい施設とはいえない状況です。既存の体育施設の全てをバリアフリー化することは、財政的にも、建築物の構造上の面からも実現することは困難であります。しかし、出入り口の段差解消や、車椅子での乗降が可能な駐車スペースの指定、洋式トイレや多目的トイレの設置など、実現可能なことから、必要に応じて計画的に着手し、「誰にでも」やさしいスポーツ施設の整備を目指します。

2. 施設整備における課題を踏まえた整備

施設整備における課題を踏まえた整備を以下に示します。

(1) 既存施設の利用状況、利用者の意見等を反映させた整備

施設の利用状況だけでなく、利用者の意見や、市民のスポーツニーズを把握するために、市の関係施設等や市のホームページ上に意見箱を設置し、得られた意見を的確に施設整備に反映できるようなシステムを構築します。

(2) 地域密着型の生涯スポーツの需要に対応した整備

地域密着型の生涯スポーツ等の需要に対しては、地域におけるアクセスの優位性等を勘案して、学校体育施設等を有効に活用することで、地域住民の健康増進・交流ができる地域づくりを推進します。廃校となった小・中学校のうち、中学校は社会体育施設、小学校は地域多目的施設として位置づけ整備を推進します。

(3) 専門競技場の整備

野球場、サッカー場等の専門競技場においては、開催が望まれる各種大会に対応した施設規模や、社会人及びプロレベルの利用にむけた施設規模が確保できるように、まず既存施設の質及び利便性の向上にむけた改修を推進します。

また、どうしても不足する施設については、必要に応じて、規模の算定及び設置場所の選定を適切に検討し、新設も含めた整備を推進します。

この専門競技場の整備に関連して、三野町清水地区において国土交通省が整備する芝生堤防工事の平成21年度完成に伴い、堤外側にできる広大な河川敷の有効利用について、国土交通省、徳島県、三好市及び市民の代表からなる「三好市吉野川三野水辺の未来を考える会」が設立されています。そして、アンケート調査を実施するなど市民の要望を調査し、国、県、市の3者による協議を重ね、利用について概ねの方向性が出されています。

そこでは『サッカー場や野球場などスポーツ施設を中心に市民が集い、憩える場所として利用できる施設の整備』が要望されており、隣接する四国三郎の郷などとの連携や、県西部のスポーツ交流拠点としての位置づけが必要であると示されています。専門競技場等の整備は、こういった内容とともに近隣市町（「にし阿波観光圏」）に既存する同様のスポーツ施設の整備状況も勘案して検討します。

(4) 休廃校となった学校体育施設の有効利用にむけた整備

(2)にも示したように、地域密着型の生涯スポーツ等の需要に対しては、休廃校となった学校体育施設の継続的な利用にむけた整備を進めることにより、地

域振興を推進します。

廃校となった小・中学校のうち、中学校は社会体育施設、小学校は地域多目的施設として位置づけ、地域の運動施設、コミュニティー施設としての整備を推進します。また、休校の施設はこれまで同様に学校体育施設の開放を行い、地域住民の運動施設として提供できるよう施設等の維持に努めます。

また、(3) 専用競技場の整備に関連しますが、社会人やプロの合宿等の誘致を考慮すると、競技場以外に屋内練習場等を備えていることが望まれます。ここでも、休廃校となった学校体育施設等の有効利用を視野に入れて計画します。

(5) 施設の耐震化及びバリアフリー化

学校体育施設については、教育施設の整備として計画的な対策を推進します。

また、社会体育施設については、費用対効果も考慮し、必要に応じて耐震化及びバリアフリー化を進めることとしますが、池田一中体育館、井川体育館等については、施設の老朽化が著しいため、廃止することも視野に入れて計画します。

(6) 施設の利便性の向上

既存施設の利便性の向上にむけた整備は、施設の現状と、利用者の意見等を的確に把握し、必要に応じて計画的に進めることとします。

水洗トイレの設置や増設、飲料水の供給及び水飲み場の設置、観覧席の整備等、利用者及び観覧者が快適にスポーツを楽しむことができるように整備します。

(7) 現在整備されていない競技場の整備

現在整備されていないもので、新しく整備が望まれる陸上競技場や、パークゴルフ場、ランニング専用コース等については、その必要性、施設規模、設置箇所を適切に検討し、計画的な整備を行います。

ランニングコースやジョギング・ウォーキングコース等については、各地区の既存施設やその周辺を対象に、併用コースとして利用可能な箇所を指定し、必要な舗装等を施すことによって、競技者が利用しやすい環境づくりを推進します。

(8) 整備した施設の維持管理

既存施設も含め、新規に整備される体育施設の維持管理のために、三好市と地域住民や利用者、関係NPO団体等との連携体制を構築し、利用者がより良い環境で利用できる環境づくりを目指します。

また、施設の利用については、施設内容や利用規約、さらに予約状況等が容易に確認でき、確実な予約が可能となるようにシステムの構築を推進します。

第4章 基本構想の推進

1. 屋外施設

屋外競技については、三好市を、サッカー（ラグビー含む）、ベースボール（硬式・軟式、一般・少年）、テニス（硬式、軟式）、アウトドアスポーツ（登山、ハイキング、スキー、ラフティング）等、各種目の県大会・全国大会等、規模の大きな大会も開催できるゾーンとして、質・量ともに向上するように整備します。

また、ランニングやジョギングが、安全に行える専用コースの整備を促進します。

今後必要とされる専門競技場等の新たな整備については、三好市の施設の利用状況とともに、近隣市町（「にし阿波観光圏」）に既存する同様のスポーツ施設の整備状況も勘案して、施設の位置づけ、規模、設置箇所等を検討し計画的に整備します。

地域の施設については、地域住民が利用しやすい環境（条件）整備を推進し、施設の現状を維持できるように整備します。

特に、地域における今後のスポーツとして、地域密着型の生涯スポーツ等の需要に対しては、アクセス面も考慮して学校体育施設等を有効に活用し、地域住民の健康増進・交流ができる地域づくりに繋がります。ここでは、休校になった学校体育施設や地域多目的施設も含めて計画的に整備します。

また、主に学校体育施設においては、既存の運動場等を最大限活用し、市民の健康増進への寄与及び地域住民が交流できる地域密着型の施設とします。

西祖谷及び東祖谷地区等では、登山・ハイキングを始めとした自然体験型スポーツの場として、地域特有の自然環境そのものが施設としての役割を果たしています。今後においても、こういったアウトドアスポーツ等の場として利用できるように、必要な整備、対策を推進します。

2. 屋内施設

屋内競技については、まず、施設の規模及び設備が比較的充実している池田総合体育館を中央拠点施設に、また、三野体育館、大野体育館、井川体育館、池田一中体育館、西祖谷中学校体育館（平成25年度から社会体育施設）を地域拠点施設に、そのほか学校体育館等を地域施設として位置づけます。

そこで池田総合体育館は、中央拠点施設としての機能向上にむけて施設を充実させ、県大会や全国大会の開催、また合宿等の誘致やプロスポーツに対応できるもの

として、よりいっそう競技性の高いスポーツ施設とします。

また、地域拠点施設及び地域施設は、主に利便性向上にむけた整備を必要に応じて推進します。

3. 施設の維持管理

施設の維持管理については、三好市の担当部署は勿論、地域住民や施設利用者、関係NPO団体等との連携体制を構築し、利用者がより良い環境で利用できる環境づくりを推進します。

また、施設の利用については、施設内容や利用規約、さらに予約状況等が容易に確認でき、確実な予約が可能となるようにシステムの構築を推進します。